

福島第二原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年10月7日（金）

2 確認箇所

免震重要棟緊急対策室

3 確認項目

緊急時演習の実施状況

4 確認結果の概要

原子力事業者防災業務計画及び原子炉施設保安規定第64条に基づき毎年実施している緊急事態に対処するための総合的な訓練の実施状況を免震重要棟緊急対策室において確認した。

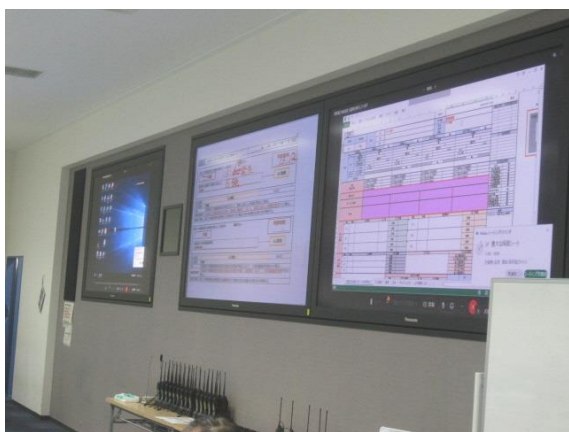
- ・ 今回の緊急時演習は、福島第一・第二原子力発電所、東京電力本店、原子力規制庁合同で行われ、大規模地震を起因として両原子力発電所で原子力災害対策特別措置法第15条事象（全面緊急事態）に至る原子力災害が発生することを想定して実施された。
- ・ 訓練シナリオはプレイヤー（訓練参加者）に対して非開示で行われ、福島第二原子力発電所においては、大規模地震（震源地：福島県浜通り内陸部、立地町震度：6強、津波注意報・警報発表なし）により、1、4号機で全交流電源喪失及び使用済燃料プールの漏えいが発生、並行して4号機ディーゼル発電機での火災発生や負傷者が発生するなど複数の事態が同時に進行するシナリオで訓練が行われた。
- ・ 13時10分に発生した大規模地震を受けて、原子力警戒態勢が発令され、原子力防災要員が免震重要棟緊急対策室に参集（約100名）し、13時15分頃から各々の班の指定された場所で対応を開始した。（写真1）
- ・ 状況が変化する中、発話やブリーフィング及び目標設定会議において、プラントの状況、事態の進展予測、復旧方法等の情報が共有されていた。
(写真2)
- ・ ブリーフィングや目標設定会議では、プラント状況、事態の進展予測、復旧方法及び進捗状況などを示す図表が大型ディスプレイに写し出され情報の共有が図られていた。（写真3）



(写真1)
原子力防災要員の参集状況



(写真2)
訓練の実施状況概観



(写真3)
大型ディスプレイの状況